

令和2（2020）年度 第1回学生・教員懇談会報告書

1. 日 時 令和2年9月19日（土）12：00～13：00
2. 場 所 厚生会館2Fサクララウンジ（桜の間）
3. 教 職 員 FD委員：小松、村山、有竹、藤井、安川、岡崎、濱村、松延、加来野、
荒牧（欠席 豊原）
オブザーバー：松原教務部長 計 11 名
4. 学 生 1～4年（各学年2名）から選出 計 8名
5. 懇談テーマ 「前期オンライン授業や実習について」

Q1. オンライン授業で良かった点、悪かった点について？

◎ 良い点

- ・動画は、何度も見直せるため、その都度確認出来たり、試験前の復習に役立った。
（多数）

● 悪かった点（要望事項含む）

- ・1・2年生は知らない先生がほとんどだと思うので、授業のはじめに先生の自己紹介動画があったら良かった。
- ・動画の時間が課目の先生によってバラツキ（30分～90分）があった。
- ・ネット環境などによって個人が受けた授業・テストに差が生じた。
オンライン（Zoom）授業で音声のみで画像が映らない授業があった。
テスト時に問題にあるグラフなどの画像が出ない事があった。
- ・出席状況の確認ができなかった。
- ・最初の頃は、緊張感があったが、時間が経過するうちにマンネリ化した
- ・単調な授業（変化が少ない動画）だと頭に入りにくいところがあった。
- ・実習の授業は、レポート作成に集中することになり内容が入らないことがあった。
また周りの人と相談もできないため考察が難しかった。
- ・実習は、実際にやってみなければわからないことから対面授業が良かった。
- ・レポート、課題の提出先が先生によってeポートフォリオだったりGoogleフォームだったりして迷うことがあったので統一してほしい。
- ・勉強の場所として自宅しか使えないため、従来のテスト勉強（学校での勉強、友達との共有）が出来なかった。

Q2. 講義動画の時間は、どのくらいの長さがよいか？

- ・60分～80分の時間範囲が適当である。
- ・授業によっては授業、復習部分の入った動画もあったので授業編、復習編に分けるやり方もあった。

- ・見直しの時に検索が容易なように動画は1つにまとめてもらったほうが良かった。
- 一方、分割したほうが集中できるので良いという意見もあった
- ・授業の内容が判るタイトル（第・回だけでなく授業内容が判るように）にしてほしいかった。

Q 3. モチベーションを高める動画とは

- ・単調な動画とならないように声などにメリハリをつけてほしい、
- ・長すぎない動画（集中力の維持）

Q 4. オンラインテストについて

- ・勉強が身につくのは対面試験の方が良いが、コロナ感染予防という状況を考えると今回のオンラインテストという選択は仕方がなかった。
- ・授業ごとの小テストは、オンラインテストが良いが、期末テストは、対面試験の方が良かった。
- ・オンライン試験の後に、理解度を確認する復習のテストをするやり方がある。

Q 5. コロナ感染状況がどのくらいだったら普段通り学校に行けるとの基準はあるか？

- ・電車で通学しているため、リスク（もし感染した場合の風評被害など）もあるので、感染者がゼロに近づくか薬が開発されるまでは、オンライン授業のほうがありがたいと思っている。
- ・親が通学を反対している学生はいなかったが、自分が通学して感染したら、親や家族の受験生に迷惑をかけるという不安を持っている。

Q 6. 授業Webアンケートについて（教員からの要望）

- 講義に関する細かい要望事項は、授業評価アンケートを活用してほしい
- 前期は、準備が遅れて時期を失した面もあったが、後期は、アンケートの準備は出来ているので周りの学生にも周知してほしいとの要望があった。

最後に

学部長が今回の意見を参考に大学として出来る対応策をとっていくと回答した。

以上